

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H30(2018)・0126 NO83

校長 伊波喜一

我が子への 希望と願い 込めた名よ 親の思いを 知るにつけても  
6年生とのお別れ会食会が、23日から始まった。初回は6名の  
児童との会食だった。こちらからのリクエストとして「名前の由来」  
「将来なりたいもの」「私に聞きたいこと」の3点を挙げた。各人  
各様に名前の由来や将来の夢を語ってくれた。保護者が大切に育て  
てくださっている様子うかがえ、有難く思う。 筆者への質問で  
は、小さい頃興味があったこと、大失敗したこと、教師になったわ  
け、最近感動したこと、読書の内容への質問が多かった。心に残っ  
た本や作家では、「赤毛のアン」や夏目漱石を挙げたが、その他諸々  
というのが正確なところだろうか。その時々、多くの作品から影  
響を受けた。特に、筆者が悩んでいた時に励ましてくれ、進むべき  
方向を示してくれた作品には、ことのほか思い入れがある。 読書  
には通読・精読・味読の3段階があるが、人生の後半からは味読中  
心でいきたいと思う。一度読んだだけで終わらせるのでは、勿体な  
い。若い頃には感じ取れなかった言葉の綾を、じっくり・ゆっくり・  
声に出して味わいたい。そんな一書を持っている人は、幸せである。